

# みさと

議会だより



美郷町議会だより

第31号

平成24年7月

美郷町議会 第2回定例会報告…	2
出前意見交換会を終えて…	3
一般質問 6人が登壇 …	5
追跡 どうなったの?あの質問…	11
住民の声 …	12

# 美郷町議会 第2回定例会報告



議長 良材 景山

平成24年第2回定例会が6月11日に招集され、会期を6月15日までの5日間と決め、条例案4件、予算案6件、一般事件案4件、報告事件案1件の計15件が提案され慎重審議しました。また、6月14日には一般質問が行われ、6名の議員が質問台に立ちました。提案された議案につきましては、15日に全議案とも原案どおり可決、承認されました。

## 提案された議案

### 条例案

- ◎美郷町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行及び外国人登録法が廃止されることに伴う改正
- ◎美郷町委員会の委員等及び非常勤の職員に対する報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について
- スポーツ振興法の廃止により、体育指導員委員をスポーツ推進委員に名称を改めるための一部改正
- ◎美郷町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について

- 道路運送車両法に定められた、自動車の臨時運行許可申請に係る手数料を定めるための一部改正
- ◎美郷町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 所得税法等の一部改正に伴い、附則に運用規定を加えるもの

### 予算案

- ◎平成24年度美郷町一般会計補正予算(第1号)
- 4月1日付の職員の人事異動に伴う給与の補正と共済費の負担率の変更に伴う補正
- 都賀保育園大規模修繕事業に係る補助金の補正

- ◎平成24年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 共済費負担率の改正に伴う補正
- ◎平成24年度美郷町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 職員の異動に伴う職員の給与及び共済費負担率の改正に伴う補正

- 職員の異動に伴う職員の給与及び共済費負担率の改正に伴う補正
- ◎平成24年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 職員の異動に伴う職員の

### 一般事件案

- ◎専決処分の承認を求めることについて(美郷町税条例の一部を改正する条例)
- 地方税法の一部が改正され、関連する美郷町税条例の一部を改正するもの  
例えば、幼稚園・図書館・博物館を設置する一般社団、財団法人に係る固定資産税の非課税措置

の追加等

- ◎専決処分の承認を求めることについて(美郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例)
- 地方税法の一部改正により、東日本大震災に係る被災住宅用地財産の敷地譲渡の延長の特例を追加するもの

### 報告事件案

- ◎平成23年度美郷町一般会計繰越明許費について
- 町道久保法田線災害防除事業、町道志君線改良事業、町道西中線改良事業、無線放送整備事業、防災公園整備事業等、平成23年度で予算化した事業を翌年度へ繰越したものの報告

契約の相手方

- パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 中国社
- 社長 森本 修

## 陳情

陳情の要旨	審査結果	付託常任委員会
「いつでも道場」の土曜日、並びに平日、午後7時までの開設について（美議陳第4号）	採択	総務常任委員会

# 出前意見交換会を終えて



開かれた議会を目指し日曜議会に続き、出前意見交換会を町内13連合自治会を対象に10会場で行いました。

「地域の活性化に向けて」をテーマにして、1月18日の都賀西・上野地域を皮切りに、地域課題やご要望、高齢化が進む集落維持、葬儀の問題、農業の担い手など幅広い分野から貴重なご意見を頂戴し、すでに数件のご要望は町に具申をいたしました。

この度の意見交換会を通して、議会を身近な存在に感じて頂いたこと、対象者範囲を広げ再開を望む声が多く検討いたしたいと存じます。

ご参加頂きました連合自治会長・単位自治会長・集落支援員・地域おこし協力隊、多くの女性の皆様に、厚くお礼申し上げます。

議長 景山良材

### 「主な意見の内容」

- 高齢者が、県内で一番安心して暮らせる美郷町にしてほしい。
- 自治会の統合とか再編成をする必要があるのではないか。
- 議員の皆さんにも、年一回でもいっから集落会議に出てもらって耳を傾けてほしい。
- 女性の力は地域で大きいものを持っていると思うが、若い人の入会が少なく婦人会も存続が危しい。若い人に入会してもらおうには、魅力あるものでなくてはならない。
- 議会としても10年後・20年後を見据えたビジョンを確立する必要があるのではないか。
- 定住対策等行っているが、住むところはあっても働くところがない。
- 青空サロン実証畑は、地区婦人会が中心で、補助金に頼らず7年目に入った。建物も男性の方々に世話になり税金がかからないものを作ってもらった。保育所の跡地が使える。

るなら加工場として使いた

い。

●病院に行くにはタクシーを利用、バスは時間がかかる。週何日かタクシーをチャーターし、町の補助金と自己負担金で運営するような制度はできないか。

●過疎対策、老人対策を含めて道路を整備しないと活性化ははかれない。道路改良の基本構想を出して欲しい。

●美郷町は90%以上が山である。もっと山に目を向けるべきだ。

●高齢者、独居老人への声掛け運動や、買い物等の手助けも計画している。

●江の川を生かす方法として、アユの尺釣り大会を行った。

●自治会単位を超えて、協議会を作り、竹灯籠をやった。外国人ボランティアも参加した。

●道の駅は美郷町の宝と言える。道の駅の活性化は地域の活性化につながる。

●E-V充電施設を（赤名、頓原の道の駅にはある）37

5号にも設置を。

●災害時の避難に担架等が必要ではないか。

●地域の交通体系は通学バスが動いている程度である。ユーロピアのバスや福祉バスを利用できないか。

●地域から消えていくものより、今現在あるものを見るべきと思う。これからは発想の転換が必要ではないか。

●地域の自慢できることを協力量員と一緒に情報発信している。

また、元気な高齢者が多いので、出来る仕事を作るのが、活性化につながるのではないか。

●お盆などで帰ってくる人のために、集会所などを宿泊用に解放してはどうか。

●今やっていることを、10年後20年後も継続して行くことが大切ではないか、それが活性化の力になるのではないか。

●携帯電話の不感地域の解消を。

●銀山への関係でバスの往来が多くなり、途中トイレがほし

い。

●担い手不足。

●鳥獣対策を。

●消防団に対する要請は、東日本大震災を受けて高まりつつあるが、若い人が少なく、現在の団員の年齢構成は高くなってきている。若い人の入団がなく、班編成も維持が難しくなってきた。

●地域内の美術、陶芸、工芸、文化などで活性化に取り組んでいる。

●毎月1回の集まりをすれば何かが生まれてくると思う。継続的なものが必要である。

●集落の共同圃場で採れたもので収穫祭を開催している。この取り組みを広めていきたい。

●活性化の事業をボランティアで受け、なんとかやってはいるが、ままならない状況である。

●全目的な有休地・遊休施設の再利用を検討して頂きたい。

●同町名の自治体と地域交流をし、議会が率先して新しい風を取り入れて頂きたい。（宮

崎の美郷町とは民間レベルで交流在り）

●孤独なお年寄りの女性グループを立ち上げ、そのサポートとして男性も入ったグループも立ち上げた。

●おじいちゃんおばあちゃんの技を残すような活動を考えている。

●地域内にグループはあるが、地域外に向けた活動に繋がっていないのが課題である。

●全国での高齢者をうまく使った活性化とか元気づける事例を集めて美郷町流にアレンジしてはどうか。

●町には文化財や伝承された物が多くある。そういった地域資源の中から共有できる物を掘り起こすことが必要ではないか。

●議会の様子を放映したらどうか。また、職員にも議会の雰囲気を知らせることも大事なことでないだろうか。

●葬儀について

●不幸があった時、手伝いが出来ない場合に、一日6000円の負担が必要で大変

である。

●かつては40世帯ぐらいあった組も4つあったが、今は18世帯の1組で葬儀をやり、食事も弁当でやっている。

●3つあった講中を数年前に1つにまとめた。長いあいだ協議を重ね、葬式のマニュアルを作成した。人的負担が楽になった。

●隣の集落との合併は若干風習が違うのでしにくい。

●お斎は、高くつくが弁当にした。会葬礼も葉書だけにすることも検討中。

●マニュアル化、帳場のパソコン利用、祭壇を使わずお寺の内陣利用。

●若者定住住宅のおかげで地域力が上がった。伝統が一度途絶えると復活することは難しいとの思いで、敢えて香典帳も墨書で、お斎も八十物を使用している。

●20戸を二つに分けて世話をし、お斎の改善と親戚でも手伝いにすることにより問題を解決している。

# 6人登壇



町長  
沖野 健

## 一般質問

### 子育て支援は（入園式への出席を）

要請があれば検討したい



籓根正一 議員

#### 問

本町では、中学生までの子供について医療費の全額を助成する子供医療費助成制度や、ヒブワクチンなど予防効果の高いワクチンについて接種費を全額助成する制度など、色々と子育て支援に力を入れている。

保育事業については、本年度より邑智地区において、沢谷・乙原両保育所が、おち保育園へ統合した。新たな保育体制となり、おち保育園・都賀保育園共に、延長保育及び土曜日の終日保育も行われるようになった。保育料についても国が定

める保育料の75%を減額及び第三子以降の無料化する支援している。

在宅時の子育て支援として、生後6カ月からの乳幼児の一時預かり保育など、子育て支援されることに對し、うれしく思う。

今春、都賀保育園の入園式では、多くの来賓の方の出席を頂き挙行された。

その入園式に町からの出席がなかった。これまで出席された例がなかったようだが、本町の子育て支援対策を、町民や保護者の方々に、説明される良い機会ではないかと思う。今後、町長は出席する考えがあるか。

#### 沖野町長

#### 答

美郷町の保育体制については、おち保育園、都賀保育園、君谷保育所の2園と1所の体制となった。その内、法人委託をしているおち保育園と都賀保育園については、

保護者の就労形態の多様化に伴う、子育て支援を目的として、子育てしやすい環境づくりを行っている。

また、旧沢谷保育所においては、保育所への入所されるまでの乳幼児と、その保護者を対象に、親子交流や



都賀保育園

子育てに関する相談の場として、子育て支援センターを週5日、法人委託により開設している。

参考までに、6月1日現在における保育園の入園・入所者数は、おおち保育園で135名、都賀保育園で52名、君谷保育所で17名である。

都賀保育園への入園式に町から出席をしていなかった件については、都賀保育園の入園式は、全保育園児とその家庭が出席され、多数の来賓の列席のもとに開催されている。一方、お

ち保育園については、統合前から保育園児と、新たに入園をする子供さんご家族、そして法人役職員の出席で行われていて、来賓案内を行わず開催をされている。

町としては、保育園行事への参加の平等性の観点から、これまでいずれの保育園の入園式にも出席をしていなかったが、来年度以降、各保育園・保育所の方針により、町からの出席を希望される場合は、出席する方向で検討をしたい。

期間は7月2日より9月7日までの平日の午前9時から午後8時までを目標に、県施設約1200棟の内、病院を除く全施設で実施される。

こうしたことを踏まえ、本町でも節電目標値を設定した対策を策定しているか。沖野町長

**答** 政府は、この夏の中国電力へ対する節電目標を、対2010年比マイナス5%と要請したが中国電力としては、この夏以降、既にマイナス2・5%程度の節電が定着している

と見込まれることから、この夏の追加的な節電としては、マイナス2・5%程度が目標になる。

本町のこれまでの取り組みは、2010年秋に役場庁舎への太陽光発電設備の導入及び蛍光灯のLED化を行っている。この結果、役場庁舎の2011年の年間電気使用量は、2010年比で約マイナス5万4000キロワットアワーで、17・3%の削減となっている。

この夏も昨年同様、対2010年比では同程度の節

減が見込まれ、政府、中国電力が目指す目標は達成できることから、特に目標値は設定していない。

節電対策メニューとしては、庁舎等の昼休みの執務室、使用しない会議室や廊下の消灯、庁舎等の空調を28度に設定し、長時間席を離れるときはOA機器の電源設定は、既に実施期間や時期を決めずに年間を通じて行っている。さらに、環境省が夏場の節電対策の一環として、5月から10月までの期間行う、クールビズも、当庁でも率先をして実行をしている。

今後、庁舎のほか、大和事務所、各交流センター等町有施設については、節電対策を徹底していく。

また、町内の事業者及び家庭向けには、政府・中国電力が必要の変動に効率的に対応する新たなピークカット対策、需要家向けの節電メニューの提示、節電に関する普及啓発活動の実施、電力需要に係る情報提供等、節電促進の取り組みを行うので、その周知、PR等について協力したい。

## 美郷町地域新エネルギービジョンに基づく小水力発電所の設置の可能性は調査し検討を重ねたい

調査し検討を重ねたい



品川光博 議員

### 問

昨年3月に発生した東日本大震災に伴っての福島第一原子力発電所の事故以来、日本のエネルギー政策について国民的議論が続いている。

そのような状況下、去る6月11日、島根県と全県下19市町村を構成メンバーとして、県再生可能エネルギー導入促進協議会が設立され、本町も出席し協議会へ加入した。

島根県と市町村とで、小水力・地熱発電などの導入に向けて意見交換し、国の補助制度の活用などで情報を共有することが狙いと報道をされていた。

① この会議に出席した職員からの報告に基づき次の2点について所見を求める。

A 県及び市町村の事業推進に向けた意欲や取り組み姿勢を、どのように職員が感じて帰ったのか。

B 国の担当者の説明に、市町村が積極的に取り組めば補助制度の活用可能性までの発言があったのか。

② 美郷町は平成19年度美郷町地域新エネルギービジョンを策定している。

最近には特に資源再生エネルギーが注目されているところであり、本町では木質バイオマスや小水力発電所の新規開拓が導入プロジェクト

## 節電対策は

政府・電力会社の行う節電対策の周知、PRに協力したい

### 問

昨年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故により、原子力発電の安全性が世界で問題となり、原子力発電を廃止

する国も出てきている。我が国でも、現在は定期点検等のためにすべての原子力発電所が停止している。

これから電力需要の増え

る夏に向かうにあたり、国は電力会社ごとの節電目標を設定して、電力不足にならないように節電目標値を決めている。

島根県では、病院などを除く県有施設で、国の要請どおりの2010年夏対比で5%以上の節電目標を、6月中を目標に策定した。

### 答

政府は、この夏の中国電力へ対する節電目標を、対2010年比マイナス5%と要請したが中国電力としては、この夏以降、既にマイナス2・5%程度の節電が定着している

と見込まれることから、この夏の追加的な節電としては、マイナス2・5%程度が目標になる。

本町のこれまでの取り組みは、2010年秋に役場庁舎への太陽光発電設備の導入及び蛍光灯のLED化

### 問

昨年3月に発生した東日本大震災に伴っての福島第一原子力発電所の事故以来、日本のエネルギー政策について国民的議論が続いている。

そのような状況下、去る6月11日、島根県と全県下19市町村を構成メンバーとして、県再生可能エネルギー導入促進協議会が設立され、本町も出席し協議会へ加入した。

島根県と市町村とで、小水力・地熱発電などの導入に向けて意見交換し、国の補助制度の活用などで情報を共有することが狙いと報道をされていた。

### 答

この会議に出席した職員からの報告に基づき次の2点について所見を求める。

A 県及び市町村の事業推進に向けた意欲や取り組み姿勢を、どのように職員が感じて帰ったのか。

B 国の担当者の説明に、市町村が積極的に取り組めば補助制度の活用可能性までの発言があったのか。

② 美郷町は平成19年度美郷町地域新エネルギービジョンを策定している。

最近には特に資源再生エネルギーが注目されているところであり、本町では木質バイオマスや小水力発電所の新規開拓が導入プロジェクト

クトに示されている。

中でも小水力発電の開拓は、行政が事業主体として位置づけられているが、事業推進の今後の具体的方向性について尋ねる。

沖野町長

**答** ①A 企画課の課長補佐が出席し、事業内容の説明を受けた。

現在取り組んでいる新エネルギー設備導入促進事業に関して、県の新規事業の補助金を加算分として実施する内容で、すでに5件の申請があり、手続を実施している。

①B 国の担当者説明は、主に再生可能エネルギーの固定価格買取制度について、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス等のそれぞれの調達価格と調達期間についての内容であった。近々国が最終決し、公表される。

補助制度及び活用可能については、今後開催予定である8月の「国の新たなエネルギー政策と県・市町村の取り組みの方向性について」の説明にて詳細化する。

② 平成21年度において、環境省の調査事業を活用し、

江の川の支流9河川11地点と用水路2地点及び既存のJA島根おちの水力発電所（角谷・魚切谷の2カ所、昨年は年間の総発電量約340万キロワット、売電価格約3100万円、経費差引後約1300万円の利益）の再開発調査を実施をした経緯がある。

当時の調査結果は、売電による電力収入として期待できる箇所は田水川と、環境教育施設としての利用が大和小学校横の用水路となっている。

それぞれの施設の新設にはかなりコストがかかることや、当時の売電単価は1キロワット当たり9円の単価であり、安値のため具体的な実施に至っていない。

今後の方向性は、電力の買取り価格・期間や施設設置に関するコスト面等、さらに可能性を調査する中で、県で発足された協議会との連携を密にして、事業推進に向けて検討を重ねたい。

魚切谷の小水力発電所（JA所有）



## 農道や耕作道に架かる橋の老朽化対策は

事業実施に向けて検討する



山本幹雄 議員

### 問

美郷町は、昭和47年から58年にかけて、何回も激甚災害の指定を受け、大きな災害にみまわれてきた。

農業用施設である農道や耕作道に架かる橋は、95%を超える国の補助を受け、わずかな負担金で関係戸数2戸以上ならば、申請どおりに復旧事業として採択を受け、建設された。

その農道橋は、建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいる。H型の鋼桁は架設以来塗装されずにいるため腐食は進行しているし、コンクリート床版橋も経年劣化により、ひび割れ等が

見受けられる。

また、高欄も根元の腐食により倒れたままとなっていたり、橋台のそで部分も不当沈下によって傾いてしまった擁壁など、通行に危険と思われる箇所もある。

昨年度、橋梁の長寿命化のために町道や農道の調査が行われたが、農道台帳にない農道や耕作道の調査も必要ではないか。

過疎には歯止はかからず、空き家が増加し、復旧当時は耕作者が2名以上あり、復旧対象になっていた箇所も現在は住む人がいなくなり、関係者が一戸しかない農道橋もある。

老朽化した農道橋



生活道の改良や補修については美郷町生活道路整備実施要項があるが、幅員が2メートル以上と規定されていて、対象にならないところもある。

橋梁工事は非常に高額であり、現存のもの長寿命化を図る方が安くなると考えるが、どのような対策を考えているのか伺う。

沖野町長

**答** 町が台帳を有して管理をしている橋梁

以外の個人管理の橋梁については、邑智地区で13カ所、大和地域で20カ所となっている。

町管理の施設は昨年の橋梁点検において調査をしたが、個人管理の橋梁については、箇所数程度の把握しかできていない。

個人管理の橋梁や生活道として利用されている施設についても、対応が必要であると考えている。

現在、生活道舗装として予算化して実施している事業を、拡大解釈することによって橋梁の補修、修繕も可能と考えている。

現状の施設状況を調査、必要予算額を把握し事業実施に向けて検討する。

## ゴールデンユートピアの今後の運営方針は

現在改善計画を策定中



佐竹一夫 議員



ゴールデンユートピアおおち

**問**

ゴールデンユートピアについては、昨年事業仕分けにより、23年度に改善計画を立て、24年度から実施となったようであるが、その詳細はどのようなものか。

この施設は、町民の健康と福祉を目的につくられたものであり、本来なら直営の施設にすべきものであったと思うが、指定管理の施設にされた。そして今回事業仕分けにかけられた。その意図は、なんであったのか伺う。

また、食堂について、いろいろあってやめられたと聞いているが、役場として、食堂は貸してやるんだから、やめたければどうぞ、という上から目線でなく、今後は、お互いに話し合っ問題に対処し、長く続けられるように考えてもらいたい。

沖野町長

**答**

先般5月23日に開催した、美郷町行政改革審議会に事業仕分けの検討結果について、23年度の実績を報告した。

改善計画を検討する中で、従来できていなかった運営活動への取り組みと施設利

用の取り組みと使用改善について実施した。

結果的には、厳しい状況であることと、加えて年度末における支配人の交代、さらにはレストランの経営者の交代もあり、早急な募集を行うという状況である。

ゴールデンユートピアについては、現在6月末を目途に改善計画の策定しており、改善計画が出来次第、実行できるよう努力している。

### 樋ヶ副町長

ゴールデンユートピアが事業仕分けにかけられた経緯は、行財政審議会で、事業仕分けの内容、項目について決定されたもので、行政がこれをもってくださいますと言ったものではない。

事業仕分けについては、経営内容の健全化についての指摘もあったが、広く多くの住民の方に、利用していただける工夫が必要ではないかとの意見も伺っている。

## 邑智中学校の部活動は

少数になっても充実した活動ができるよう支援

### 問

邑智中学校の部活動が、生徒の人数不足で、本年度から陸上部が募集をやめた。

さらに来年度は、野球部も部員不足になる可能性があると言われているが、どのようにするのか、何か良い手はないか。

例えば、隣の邑南町でやっているように、町内の2つの中学校で、片方にな

### 答

い部活に、もう一方の学校の生徒が加入し、一緒に練習をするなどはどうか。

近年、生徒数の減少に伴い、各部活動の生徒数が減っており、活動を充実して行えない状況が数年続いている。

また、学級数の減により、職員数も減り、各部活の指

導について、職員数も限られ、安全上の問題や十分な指導体制がとれない厳しい状況にある。

同規模の他の学校と比較しても、邑智中学校の部活の数が多く、今後、充実した活動を行うために、昨年

からPTA・部活動振興会・保護者会と部活動の再編について検討を重ねてきた。

この結果、24年4月から6つの部を5つに減らし、陸上部を募集停止することにした。

今後の部活動の持ち方については、来年度以降の生徒数や生徒・保護者等の要望の状況や地域の振興にも貢献することなどを考慮しながら検討していく。

さらに、部活動の継続を望む場合は、生徒の意思を尊重し、少数になっても充実した活動ができるように、在籍部員の声を受け止めながら、出来る限り支援を行う。

競技大会等の参加活動については、他の部活動の生徒が参加できるように措置を検討する。

から27年度は、70人前後であるが、現在、町が進めている定住対策により、平成28年から31年には80人から90人、さらに32年からは100人前後に増加する見込みである。

町としては、引き続き、若者が暮らしやすい定住対策・子育て支援を推進し、生徒数の増を図り、部活動が活発にできるよう支援したい。

### 田邊教育長

基本的には、両校に部がある場合は合同して大会に出ることが出来る。これは郡大会、県大会、全国大会まで可能であるが、今のところ島根県では例がない。

また、片方に部活のない野球部の場合は、基本的に大和中の生徒が邑智中の野球部に入って大会に出ることはできない。

今年の3月、邑智中学校を卒業した3名の者については、大田、或いは金城から剣道をやりたいために、邑智中学校に転校して来ていた。

基本的に現在自分が住んでいる校区内の中学校に剣道部があれば、他町の剣道

部の有る学校へは、その在籍する教育委員会が許可を

しないと、義務教育であるので転校はできない。

## 町道・林道支障木の伐採を

安心安全の道路管理に務める



黒川民次郎 議員

### 問

これから本格的な梅雨の季節になり、台風や豪雨などで、川の増水やがけ崩れ、そして大災害などが発生しやすくなる。

町道・林道において支障木などにより、車の道路通行が困難となり、離合ができないところが多く見受けられる。

各連合自治会では、道路の草刈りは年2回から3回行っている。ただ、高いところの倒木や枝などは危なくて伐採ができない。

昨年度は緊急雇用対応事

### 答

業で2名と、町単独雇用の2名の計4名で約3カ月間、道路の維持管理をした。今年度も同事業にて計画されているか。

また、地域住民にとっては大規模な台風や豪雨など、洪水被害を含め、刻々と変わる被害状況に際して、避難場所、避難経路の見極めが課題である。道路の管理者である町の対処方法、安全対策について町長の考えを伺う。

### 沖野町長

町が管理をしている道路は、町道が3

通行をさまたげる支障木



73路線、農道が152路線、林道が48路線ある。

管理については、パトロールや地域住民からの情報等で確認した状況に基づいて、随時、支障木の撤去や路面管理を行っている。

緊急雇用対策事業での維持管理も昨年と同様に行っている。

都賀行から信喜への林道信喜線は、平成23年度実績で3月下旬には霜崩れの取り除きや12月中旬には支障木の伐採を行った。また、信喜地域の団体へ草刈りの委託をしている。

本年も3月下旬に降雪シーズン終了に伴い、霜崩れ倒木等の撤去作業を実施した。

町が管理している路線は、非常に多く、また長距離で、すべての路線を、同じように作業はできないが、気象状況や道路の利用状況に併せて、安全安心な交通ができるように道路管理に努めている。

美郷町内での道路維持管理費として、平成23年度実績は2350万円で、内訳は、緊急を要する応急工事に380万円、舗装修繕工

事に600万円、通常の道路修繕工事で1370万円である。県道、国道に関しては、町と同様の維持管理状況で3億7600万円となっている。

町内の県道・国道及び町の管理体制については、災害時において長期の通行規制がないように応急対策の準備を行い、安心安全の道路行政に勤めている。

### 過疎対策事業債(ソフト分)の活用は

新たな地域運営や地域課題解決のために活用する



岡先利和 議員



平成22年4月に施行された過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律では、過疎地域の医療の確保、生活交通の確保、集落維持及び活性化産業の振興など、住民の安全・安心な暮らしを守るための事業、いわゆるソフト事業について、過疎対策事業債の対象とするなど、過疎地域に対する支援の充

実が図られた。これにより過疎対策事業、特にソフト事業について各地でさまざまな取り組みがなされると期待されている。ソフト分の活用により、過疎地では過疎地域自立促進計画に記載をして、幾らでも借りたいという思いがあるが、3割負担といえども借金である以上、借り入れの際には十分な検討が必

要かと思う。

本町においても、みさとカレッジ等いくつかの事業の財源に活用されたが、その金額は美郷町の発行限度額の、どのぐらいの割合になっているか。また、将来活用する事業の計画があれば、併せて伺う。

沖野町長



本年の3月議会において、美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更について承認をいただいた。この過疎対策事業のソフト事業については、いろいろな事業実施も可能になった。

過疎対策事業債のソフト事業については、限度額が算定されており、平成24年度の限度額は、平成21年度から23年度の基本財政需要・基準財政収入、そして財政力指数の3年間の平均値より算出をされ、1億849万5千円で、発行予定額は9千280万円であり、割合としては85・5%になる。

今後活用する事業計画については、既存の事業と新たに連合自治会長会で資料提供した、美郷町過疎地域



活性化交付金（仮称）事業がある。  
この事業の目的は、新たな地域運営の仕組みづくりや地域課題解決のための取

り組みに対して支援を行うものであり、県との協働連携事業により事業実施をす

# 追跡

## どうなったの？あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。  
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。



相互通信機能が設置される放送設備

**問**… 災害時の連合自治会との  
連絡手段として、  
無線設備の設置が必要

**答**… 防災無線の更新に合せ、  
連合自治会単位で  
相互通信ができるよう検討中



私は中学校卒業すると広島  
の学校に進み、そして福山市に  
ある某鉄鋼メーカーに就職して約  
7年間、故郷を離れておりました。  
ある日、帰省していた時に  
旧大和村役場の駐車場に於いて  
夜神楽が奉納されており、久しぶりに神楽を堪能いたしました。

それ以来、望郷の念が募り遂に昭和47年秋U  
ターンして帰郷。その当時は各地で公害問題が  
起きており福山市も例外ではなく大気汚染が進  
み、そのような状況も後押しし思い切って決断  
をしました。

昭和47年と言うと大水害が発生、江の川の河  
岸は様変わりし自然の驚異を見せつけられた年  
でありましたが、なんとか就職も決まり神楽団  
にも入団させて頂き7年間の隙間を徐々に埋め  
戻すことができました。

爾来、37年が経過し平成21年3月に退職、第  
二の人生はゆっくりと思っておりましたが連合  
自治会長、集落支援員、センター長と三つの看  
板を背負うこととなり皆様方にご迷惑をかける  
のではないかと心配しておる日々でございます。

都賀行も30数年間の間にはずいぶん変わりま

した。住民の拠所であった小学校、保育園がな  
くなり子供の声、授業時間を告げるチャイムの  
音、盆には二重三重となっていた盆踊りの輪、  
秋祭りには境内狭しと出されていた露店、何も  
かもなくなってしまい、そうした賑わいを少し  
でも取り戻し、また希薄になっていると言われ  
ている絆を築けるように花見会、盆踊り、月見  
会、秋祭りの楽打ち、クリスマス会と行なっ  
ておりますが、悪くいえばマンネリ化、良くい  
えば継続、あまり背伸びせず長く続けて行くこ  
とにより、地域の宝である子供たちが将来、望郷  
の念を抱き故郷を大切に作る気持ちが育って  
くれればと思っております。こんな都賀行です  
が『継続は力なり』をモットーに頑張っ  
て行きます。

最後に先日、テレビを見ていたら島根県の知  
名度アップ標語に「定休日じゃないんだよ、人  
が居ないんだよ」というのがありました。日本  
は世界で類を見ない高齢化の進捗、その縮図が  
島根県と言われており、反面、先進地でもあり  
ます。その真ただ中にあります都賀行、良い  
意味で先進地になれるよう、スローガンである  
「みんなの声が聞こえる元気な都賀行」を目標  
に頑張りたいと思います。



### 編集後記

最近病院とご縁が  
深くなった。外来診察待  
合室はいつも満杯で、そ  
の半数は付き添い家族・  
親族や福祉施設の方であ  
る。病院は、自助・共  
助・公助がそれぞれに機  
能しているところと感じ  
る。

今議会便りは、1月か  
ら2月にかけて行われた  
議会の出前意見交換会  
での意見を掲載した。

各自治会とも地域課題  
の克服に苦勞をされてい  
る。共助の部分になると  
思うが、生活支援のため  
のNPO法人や、一人住  
まいの高齢者支援のため  
の組織の立上げなど、地  
域のことは地域でどの  
もいでの活動が増えてい  
る。

この意見交換会を通し  
て、公助の部分での議会  
の役割を、一層の自覚を  
もって活動しなければな  
らないと感じた。

(井下慈海記)